



「錦 かね松」
父・上田耕司さん 息子・上田欣司さん

ほんに、京の野菜は別品さんべっぴん

ほんに

「八百屋は野菜で季節を伝えるのも仕事のうちや」

「今日も一番おいしい旬のもんが店先に並んでいます」

「この野菜を農家の方がどんだけ手塩にかけて育ててはるか手伝てつたいに行つてよう分かつたやろ」

「あんなに丁寧ていねいに育てられた京野菜を

売らせてもらうのはありがたいことです」

「八百屋ちゅうのは農家と一緒に商売してるのやと

親父おやじも祖父じいさんもよう、言うたはつた。

うちの野菜がおいしいって言うてもらえるのも

ほんに、農家あつてこそや」

「そのおかげで百三十年やつてこられたんですね」

「作る人にも食べる人にも大事にされて

ほんに、京野菜は、野菜の別品さんや」

「ほんに」は、「本当に」の意。「本当に
そうすね」とか「全くその通り」と、
疑う余地もないほど積極的に同意す
る時や「ほんにまあ、うれしいこと」と
いうように、ある感情を強調する時
使われることが多い。

おもいことばに話して
京ことば

「ON YOUR SIDE ～一緒にうれしい～」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。

 京都中央信用金庫

京都市下京区四条通烏丸西入ル TEL.075-223-2525 FAX.0120-201-580 (フリーダイヤル) www.chushin.co.jp